

小さな白いはな哺乳類

# トガリネズミ展

—私たちは「鼠」の仲間ではありません！—

# 公開セミナー

申込不要です~



日時：12月21日(土)  
13:30 ~ 15:00

北海道大学総合博物館 1階 「知の交流」



**\*13:30 ~ 14:10**

## 「トガリネズミの分類的・進化的な位置 —えっ？真無盲腸目←説明します」

大館 智志 (北海道大学低温科学研究所 助教・北海道大学総合博物館 資料部)



トガリネズミの仲間は「鼠」つまり齧歯目の仲間ではなく、真無盲腸目に属する動物です。東アジアの伝統的な博物学ともいえる本草学では、「鼠」を示す範囲は、真無盲腸類からイタチ科、齧歯類(ネズミ科とリス科)と一般に小さくてしっぽの長い動物を指しています。日本語の「ネズミ」もこの影響で、真無盲腸目の多くの動物も和名として「ネズミ」と呼ばれています。真無盲腸目とは聞き慣れない言葉だと思いますが、これはトガリネズミ科、モグラ科、ハリネズミ科とソレノドン科を含んだ動物の仲間です。今回は最新の研究結果も含めて、この真無盲腸目とトガリネズミ科の分類学・系統学的な位置関係を説明します。

**\*14:10 ~ 14:20**

休憩

**\*14:20 ~ 15:00**



## 「トウキョウトガリネズミの環境適応力」

河原 淳 (環境省希少野生動植物種保存推進員)

世界最小級の哺乳類であるトウキョウトガリネズミは、約10年前までは偶然でしか捕獲できないと評された幻の種でした。近年生体の捕獲が可能になり、生態が徐々に判ってきました。体が極端に小さいこと、寒冷な地域に生息すること、同属他種との競合など、一見不利な状況下で生息していると考えられます。しかし、必ずしもこれらの条件は、不利にはなっていないようです。まだ断片的な情報ですが、本種の環境適応力という観点から、本種の生態について紹介します。



### お問合せ

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目 TEL: 011-706-2658

<https://www.museum.hokudai.ac.jp/>

